

おうち

第3号

2003.7



イメージをそだてよう
テーマ
よみきかせ

特集 本をひらけばたのしい世界

アンケートの結果から

よみきかせの現場から 氏家町お話しボランティア

表紙絵 工藤 董ちゃん
アリスの会

トピック しつけ「私のしつけは体罰？」

掲示板 読者から、県からのお知らせ

アンケート 「テレビ」について

栃木県幼児教育センター



特集

本をひらけば たのしい世界

言葉のリズムや響きに触れながら、創造の世界に旅立つはじめの一步。
語りかけ、ともに絵に見入り、時には子どものつぶやきに耳を傾け...
誰もができる「よみきかせ」は、心のイメージを広げていく子どもたちへの素朴な贈り物です。



「ぐりとぐら」

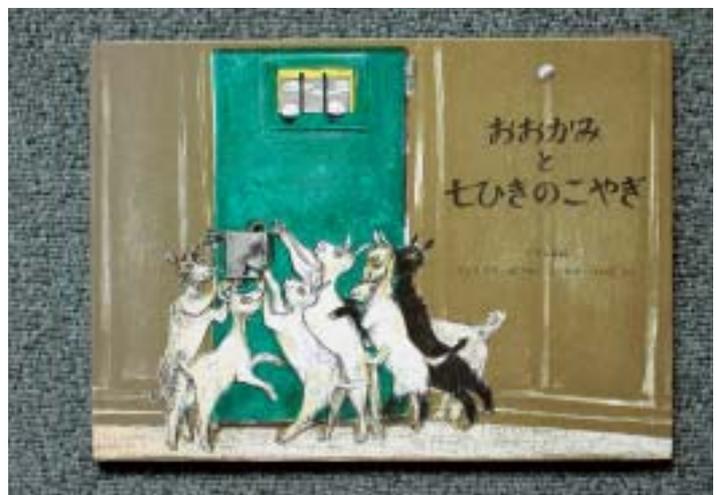
なかがわ りえこ 福音館書店

ぐりとぐらの好きなのは、お料理すること食べること。
森の中で見つけたのは・・・。

「おおかみと七匹の子ヤギ」

グリム童話 福音館書店

お母さんの留守中はおおかみに気をつけること。おなじみのお話ですが、想像力をかきたてるすばらしい絵本です。





「ももたろう」松居 直 福音館書店

おなじみ昔話の代表作。ぜひ子どもに伝えたい、日本独特の文化ただよ一冊です。

「はらぺこあおむし」

エリック＝カール 偕成社

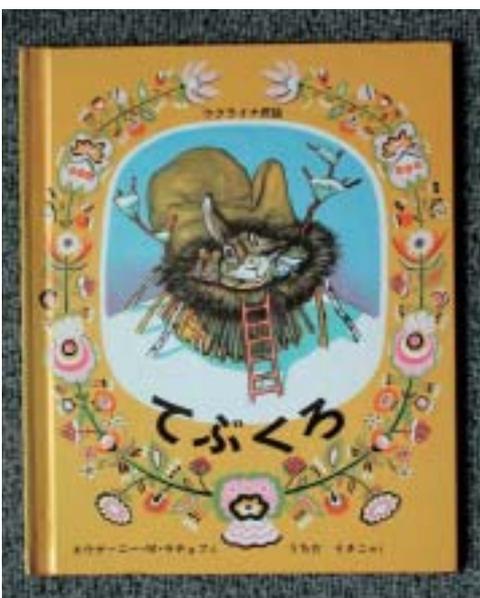
ちっぽけだったあおむし。いろんなくだものを食べて大きくなりました。ちょうになって大空へ。だれもが大好きな、あおむしの食べた穴のあいた本。



「てぶくろ」

エウゲーニー・M・ラチョフ 福音館書店

森に落ちていた暖かそうな手袋。たくさんの森の動物たちがなかに入ります。ぎゅうぎゅうづめですが、とっても暖か。でも最後には……。



アンケートの回答で子どもが好きな本として多くあがった本を、出版社の許諾をとって掲載してあります。

アンケートの結果から

皆さんからいただいたアンケートから、子どもの好きな本、読むときの工夫などをまとめました。参考になることがたくさんです。

子どもの好きなおはなし (回答の多かったもの)

- ぐりとぐらシリーズ (福)
- 桃太郎
- 3匹のこぶた
- はらぺこあおむし (福)
- アンパンマン (フ)
- おおかみと7ひきのこやぎ (福)
- ノタンシリーズ (偕)



「14ひきのひっこし」
いわむらかずお作 童心社

- 昔話、
 - そらまめくんシリーズ (福)
 - 乗り物・動物・虫などに関する本
 - きかんしゃトーマスシリーズ (ポ)
 - しらゆきひめ、シンデレラひめ
 - バムとケロシリーズ (文)
 - ピーターパン
 - おおきなかぶ (福)
 - カラスのパンやさん (偕)
 - 3びきのやぎのがらがらどん (福)
 - おむすびころりん
 - 日本昔話シリーズ
 - ねずみくんシリーズ (ポ)
 - はじめてのおつかい (福)
 - 14ひきのねずみシリーズ (童)
- (福) 福音館書店 (偕) 偕成社
(フ) フレーベル (童) 童心社
(ポ) ポプラ社 (文) 文溪社



「はじめてのおつかい」
筒井頼子作 福音館書店



「バムとケロのさむいあさ」
島田ゆか作 文溪堂



「からすのパンやさん」
かこさとし作 偕成社



「さんまいのおふだ」
水沢謙一 再話 福音館書店

「こんとあき」
林 明子作 福音館書店

「スーホの白い馬」
大塚勇三 再話 福音館書店

その本の好きな理由は？

- 登場人物** 正義感のある主役が登場するから おばけがでてどきどきする 主人公が心優しいところが気に入っている キャラクターがすき
- 内容** 話の内容がおもしろい 自分にも起こりえる身近な題材だから 話が楽しいから 大人も子どもも感じることができるおはなしだから 興味のある内容だから (動物、おばけ、数など) 人情あふれているから くり返しが楽しい 工作がのっているから

- 園生活との関係** 発表会で劇をしたから
- その他** 親自身が好きだから 上の子が読んでいるから 生まれたときからずっと読んでいる 保育園で初めてもらった絵本だから

なぜその本が好きかについては、子ども達の経験に深く根ざした理由があるようです。生まれたときから親しんでいたり、園生活で発表をしたり、また、家族が子どもに語って聞かせたり、そういった経験が子どもを本好きにするのかもかもしれません。

読むときの工夫

登場人物になりきり感情を入れる
テレビを消して落ち着いた雰囲気を作る
ひざの上で、ゆっくり読む 同じ本を繰り返し聞かせる
子どもの好きなものは見落とさない
登場人物を子どもの名前にかえて読む
年齢なりに理解できる本を選ぶ
時には子どもに 絵を見ながらお話してもらおう
親も楽しんで読む
本は一緒に買いに行く

自分で本を選ばせる
一緒にびっくりしたり、笑ったりする
楽しくオーバーに話す
毎日読む 親の考えで感情を込めない
質問には途中でも答えるようにする
母親が読んだあとは父親が読む
ゆびを指しながら読む 無理強いしない
わかりやすく言葉を変えて ページを子どもにめくらせる
気持ちについて話し合いながら読む

近くでよみきかせをしているところ

図書館、大型書店、児童館、育児サロン
公民館、こども科学館、県立図書館、
デパート、小学校、小児科、
子育て支援センター

いつよみきかせをしますか

寝る前、せがまれたとき、外遊びができないとき、手が空いたとき、
休日、夕食後、病院の待ち時間、子どもが
読んでいるとき、おやつの後、園から帰ってきたとき、園から本を
借りてきたとき



アンケートの結果の結果について幼児教育専門員の廣瀬先生に話を伺いました。



感情を込めて読むのか、そうでないのかは、場合によって違います。その本をはじめて読む時にはなるべく感情を込めるのは避けます。子どもなりのお話のイメージを大切にするためです。反対に、何回も読んでいる本で読み手が子どものイメージをつかめているときには、それに沿って感情を込めて読むこともあります。

また、読み手が意図的に、その本のもつメッセージを強く伝えたいときには感情を込めて読みます。特に、3歳までの子にその本の持つ人のやさしさや生活習慣の大切さなどを教えたいときにはそういった読み方が効果的です。

絵本の読み聞かせをするときには、子どもは自分で字を読むわけではありませんから読み手が気づかない絵本の細部にまで目配りをしています。そういった意味で、よく読まれている本というのは、子ども自身のもつファンタジーの世界を刺激し豊かにする本だとい

えます。幼児期に、そういったファンタジーの世界を豊かにすることは、子どもの豊かな人間性を育てる上では欠かすことのできないことです。

また、毎日読むというのは本に親しむ上で大切なことですね。夜寝る前に読み聞かせをするということは、忙しい中でも読み手との絆が確認でき安心して寝られるということで、最も読み聞かせに適している時間帯です。

絵本は物語と話が一体化したファンタジーの世界を作り出しています。最初は忠実に絵本のとおりを読んであげてほしいと思います。子ども達は難しい言葉も、物語全体で理解していくものです。字を覚える時期には指を指して読むのも効果がありますが、絵本自体のよさを感じるためには、あまり文字に注意を向けられない方がよいでしょう。



読み聞かせの現場から

氏家町お話ボランティア - アリスの会 -

各地域でボランティア等によるよみきかせが行われています。氏家町のおはなしボランティア、アリスの会の取組を紹介しましょう。

アリスの会は氏家町図書館のボランティア養成講座の受講生OBが運営しているおはなしボランティアの会です。

伺った当日は手遊びなどを入れながら、絵本や科学絵本、昔話、詩集をよみきかせ、アイルランドの昔話を語り手が素語りしていました。

静かに話に聞き入る子、話の世界に入っておもわず話し出す子など、どの子ども、お話を聞くことが大好きなようです。

参加したあるお母さんは、「子どもが好きで、毎週来ています。お話を聞くととても充実した感じになります。」と話していました。お子さんは『うえへまいります』が気に入ったようで、借りて帰りました。



話し手に聞きました

どんな本を選んでいきますか

A 自分が読んで気に入った本を選んでいきます。聞く子の年齢に幅があるので、科学の本、昔話、おもしろみのある本などを組み合わせます。よい本は、自分で読んでもおもしろいですが、他の人に読んでもらうと新たなよさを発見します。また、他のメンバーが選んだ本で、自分が気づかなかった他の世界に引き込まれるということもあります。

話をする際に気をつけていることは何ですか

A 子どものイメージを固定しないように淡々と話したり、読み手の持ち味が生かせるようにしたりしています。

また、本を事前にじっくり読み込んでいきます。読むに当たっては、どの子ども置いていかないようにします。ふざけている場合でも、目を合わすように読んでいくとこっちを向いてくれます。聞くことに慣れてくると、絵本のおもしろさがわかり、おはなしのペースに合わせるできるようになってきます。

本好きになったのには、御自身の経験が関係していますか。

A 周りの環境はありました。幼児期に触れた絵本が強く印象に残っています。また、父がお風呂で、繰り返し「かちかち山」と「桃太郎」の話をしてくれたことが楽しかったです。そんなことが本好きになったきっかけになっていると思います。

お話を聞かせていただき、このような言葉で締めくくりたいと思いました。

親やその他の大人が、子どもが本を楽しめるようにしてやることで、その子が幸せで人生に積極的にかかわれる人間として育つ大きな助けとなります。

ニュージーランドの教育学者ドロシー・バトラー

アリスの会 毎週土曜日 2:30 ~ 2:55 幼児向け
3:00 ~ 3:30 小学生向け
第一土曜日 11:00 ~ 11:20 2・3歳児向け

問い合わせ先 氏家町図書館 028 - 682 - 9899

アリスの会の皆様、氏家町図書館の土屋様ありがとうございました。



こいぬがうまれるよ ジョアンナ・コール文/
ジェローム・ウェクスラー写真 福音館書店
キリンさん ©南塚直子絵 小峰書店
かあちゃんかいじゅう 内田麟太郎 ひかりのくに社
くわすによぼう 稲田和子作 福音館書店
うえへまいりまあす 長谷川義史作 PHP研究所



トピック

「私のしつけは体罰？」

Q 子どものしつけをする中で叩いたりしてしまうことがあるのですが、それが虐待になってしまうのかと心配になってしまいます。

A 子育ては本当に大変だと思います。まして、このようなコーナーに質問を寄せられる方は真実に子育てを考え、ただひたすら子どもの将来を一人で背負ってしまうような、責任感が強く真面目な方なのだと思います。

その真面目さがつい「ハンドルのあそび」にあたる「ゆとり」の心を忘れさせるのではないのでしょうか。

子どもは未成熟、未発達なので世の中の規律や規範等、これから世の中で生活していくために行動を規制したりすることが数多く出てきます。

子どもにとって頭ごなしの「いけません！」といわれることの反応は「やだ！」ということになってきます。その時、大人には、「子どもは急には変わらない、少しずつ教えて…」というように

待つことが課題になってきそうです。

子どもに注意をしたり叱ったりするときは、その場、その時をとらえて短く分かりやすい言葉で言うことが必要です。長時間くどくどとお説教することは子どもにとって難行苦行以外の何ものでもなく、かえって反発心を募らせたりすることにつながりかねません。

子どもは興味のある行動は素早いのですがそれ以外の行動に時間が掛かるのはやむを得ないことなのです。

命に関わるような危険性のある場合や緊急性を必要とする場合は例外でしょうが、体罰・暴力は相手を変えようとする究極的な行動であり、決して生産的な結果にはならないものです。

虐待は、身体への暴力の他に、極端な無視や言葉の暴力（「おまえなんか生まれてこなければよかった」等）、子育て放棄（家や車に放置したりする）等も虐待になることを覚えておいて下さい。

育児に行き詰まった時には、一人で抱え込まないで、許す限り「ヘルプ！」の声をあげて、周りの援助を求めてみてはいかがでしょうか。

掲示板

いつも「おうち」の御意見・ご感想を寄せていただきありがとうございます。今回もいくつかご紹介いたします。提供いただける情報がありましたら、お寄せください。

習い事に対する考え方などを聞きたいです。どんな習い事をさせているかについて教えてください。

中学生くらいが幼児と遊んでくれるグループはありますか。

叱ってばかりの、いえ、怒ってばかりの働く母親です。子どもの心にそのことは残らないだろうかと心配です。今まで私のしたことは子どもにとっていけないと分かったらこれからはどうしたらよいのか、など、失敗や母親の不安を取り除いてくれる方法などを教えてください。

子どもたちが集まると、ゲームをしています。悪いとは思いませんが、人とのかわりやコミュニケーションが苦手な子どもが増えていると思いませんか。皆さんの意見を伺いたいです。

小山市土塔地区でよみきかせグループを作りたいと思います。現在メンバーは3人です。興味のある方を募りたいです。
小山市つくし保育園
保護者

「叱り方」他のお宅ではどうしていますか。うまい叱り方について教えてください。

「自然な甘え」からのスタートを読んでとても参考になりました。





お知らせ

保護者の方へ

とちぎテレビからのお知らせ

広報誌「おうち」の読み聞かせに関する番組を放映します。

日時 平成15年9月13日《土》
17時30分から17時50分
再放送 平成15年9月15日《月》
12時10分から12時30分

募集

表紙や誌面に載せる子どもの絵や何気ないつぶやきを募集しています。幼稚園・保育所を通して、または直接幼児教育センターあて送付してください。なお、応募作品については返却できませんのであらかじめご了承ください。

幼稚園・保育所の先生方へ

テキストとしての使い方

この広報誌「おうち」は、保護者の皆様の意識をアンケートによって事前に把握し、保護者の方に寄り添ったテーマを設定し、誌面構成をしています。家庭教育の知識等について年2回発信していきますので、保

護者会の際のテキストとしての利用をはじめ、園だよりとの合同発行などの工夫をしていただくと効果的です。

アンケート回収のお願い

誌面構成が、より多くの保護者のニーズにあったものになるよう、多くの方の意見を把握したいと思しますので、巻末のアンケートの回収に御協力ください。なお、回収しましたアンケートはそのまま郵送いただきましても、集計して下さっても結構ですので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

保育サロンを開催します

保育サロンは、幼稚園・保育所・小学校の先生方が、それぞれの校種・職種の違いを超えて、一緒に子どもたちのことや、悩みを話し合ったり、様々な情報の交換をしたりする場です。きっと、ご自分の保育、教育に新たな発見があることと思います。参加は自由です。もちろん宿題などはありません。気軽な気持ちで参加してみたいかがですか。保育サロンの開催予定は次のとおりです。

8月23日(土) 13:00~15:30
内容:『ビデオフォーラム』栃木県総合教育センター
1月17日(土) 13:00~15:30
内容:『子どもについて話そう』栃木県総合教育センター

家庭教育広報誌「おうち」第3号 平成15年7月発行

発行者 栃木県教育委員会幼児教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

URL: <http://www.edu-c.pref.tochigi.jp/youji/> e-mail: youkyou@tochigi-c.ed.jp



キ リ ト リ

アンケート 「テレビ、ビデオ視聴について」

- 一日のうちでテレビを視聴する時間(ビデオ視聴、ゲーム機器使用時間を含む)

ア 0~1時間	イ 1~2時間	ウ 2~3時間	エ 3~4時間	オ 4~5時間
---------	---------	---------	---------	---------
- 好ましいと思う視聴時間はどれですか。

ア 0~1時間	イ 1~2時間	ウ 2~3時間	エ 3~4時間	オ 4~5時間
---------	---------	---------	---------	---------
- 子どもが一番好んで見る番組(ひとつだけに回答)

ア アニメ	イ 子ども向け番組	ウ ドラマ	エ 歌謡番組	オ スポーツ	カ ニュース
キ ドキュメンタリー	ク その他()				
- なぜ、その番組が好きか

ア 内容で	イ キャラクターで	ウ 家族が好きだから	エ 幼稚園、保育園ではやっているから
オ 今そのことに興味をもっているから	カ その他()		
- テレビやビデオの効果的な見せ方についての意見 ()

おうちに対する自由意見・保護者同士の意見交換など

65113

65113